

機能水ニュースレター NO. 108

2022年7月28日発行 一般財団法人機能水研究振興財団 編集担当 堀田国元・中藤誉子・清水雅俊

協力：日本機能水学会・(公財)ルイ・パストゥール医学研究センター

〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-20-8 Tel: 03-5435-8501, Fax: 03-5435-8522

E-mail: kinousui-zaidan@fwf.or.jp ホームページ: <http://www.fwf.or.jp>

報告：

日本機能水学会・ウォーター研究会総会	1
第84回ウォーター研究会セミナー	2
生物安全実践講習会第1回実践コースB	2
第1回やまなし次亜塩素酸水研究会	2

お知らせ：

生物安全実践講習会第4回基盤コース延期	2
第10回国際レジオネラ会議	3
日本機能水学会第20回学術大会	4
ATP・迅速検査研究会第46回講演会	4
食品ニューテクノロジーセミナー	4

機能水関連カレンダー

第10回国際レジオネラ会議	2022年9月20～24日(火～土)	はまぎんホール(横浜)
日本機能水学会第20回学術大会	2022年10月1～2日(土～日)	長井記念ホール(澁谷)

< 報告 > 日本機能水学会・ウォーター研究会総会 / 第84回ウォーター研究会セミナー

2022年7月8日(金)13～16時に、日本感染症医薬品協会4F会議室(品川区上大崎2-20-8)で開催された。

参加者は、会場約20名、WEB約20名。総会とセミナーの内容を以下に示す。

総会：WEB開催 13:00～13:45

日本機能水学会総会： 2021年度報告(事業、財務、監査)、2022年度計画(事業、財務)が原案通り承認された。

ウォーター研究会総会： 2021年度事業報告および事業計画について説明報告された。

第84回ウォーター研究会セミナー：Zoomによるハイブリッド開催

1. 「歯科臨床における感染対策と機能水の活用」 東海大学医学部/(公財)ルイ・パストゥールMRC 佐藤勉先生
2. 「レジオネラ属菌の特徴とレジオネラ症の発生状況」 麻布大学生命・環境科学部 古畑勝則先生
3. 「機能水をめぐる近況について」 (一財)機能水研究振興財団 堀田国元先生



<生物安全実践講習会>

※第1回実践コースB報告：2022年6月15～16日、ニプロ医療研修センターiMEPの協力を得て開催

能動的に病原微生物を取扱う方々(20余名)を対象に、初日は6座学、2日目は1座学と4実習が実施された。座学も実習も高い知識と技術をもつ講師陣により受講生が納得する中身の濃い指導が行われた。受講生は、大学、研究機関、機能水関連企業、製薬企業などに所属する方々であった。特別講演として、内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室企画官の野田博之先生による「感染症対策の実際 ～感染症法制を通じた対策」が行われた。また、会場のiMEPの施設見学(一部ではあったが)も行われた。



実習風景

※第4回基盤コース：第7波コロナ禍の急拡大により延期

令和4(2022)年8月4日に食品衛生センター ホール(日本食品衛生協会 5F; 東京都渋谷区神宮前 2-6-1)で開催予定であったが、第7波コロナ禍の急拡大により開催を延期することになった。現時点では、11月28日に同じ会場、同じ内容での開催を予定している。詳細情報は、生物安全実践講習会運営事務局(担当:清水雅俊 shimizu@fwf.or.jp)から随時発信。

<第1回やまなし次亜塩素酸水研究会>

令和4年7月22日(金)14～16時、甲府市古名屋ホテルにおいて開催された。

津金洋之氏(株)ミラプロ代表取締役社長)、栗井英朗氏(富士山の銘水(株)代表取締役社長)、佐野嘉彦氏(ニプロ(株)代表取締役社長)、野村和秀氏(大阪大学オープンイノベーション機構特任教授)、山本盛次氏(山梨県産業労働部部長)が発起人となり、以下の目的を達成するために4つの事項を実施することになった。

研究会は、次亜塩素酸水を活用した感染防止対策の社会実装化を睨み、その有効性や適切な使用方法を実証研究すること等を目的として、以下の事項を実施する。

1. 山梨県内における次亜塩素酸水の認知度向上に向けた講演・講座、2. グリーン・ゾーン認証施設における洗浄・除菌効果の計測及び分析、3. 次亜塩素酸水の適切な使用方法の検討、4. その他研究会の目的を達成するために必要な事項

基調講演として、堀田国元氏((一財)機能水研究振興財団理事長)による以下の講演が行われた。「低リスクなウイズコロナ生活と次亜塩素酸水」

続いて、実証研究方法の協議として、事務局(ニプロ(株)川村尚久氏)より2022年度の実行計画について説明が行われた。

事務局：E-mail obata-keiko@nipro.co.jp

TEL/FAX: 048-752-8860/ 048-752-8807 担当小畑



< 第 10 回国際レジオネラ会議 The 10th International Conference on Legionella >

<http://legionella2021.umin.jp/greeting.html>

会長： 舘田一博先生(東邦大学医学部教授)

期日・会場： 2022 年 9 月 20 ~24 日(火~土)・横浜はまぎんホール(横浜市みなとみらい地区)

開催形式： 新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮して、オンサイトとオンラインのハイブリッド開催。

内容： レジオネラの疫学、細菌学と宿主応答、臨床(診断、治療、感染対策)に関する研究者が一堂に会する機会。

機能水関連

・3学会(レジオネラ・機能水学会・バイオフィルム)合同シンポジウム： 9月24日(土)9:00~12:00

・展示： 9月20~24日(火~土)、機能水関連コーナー確保

舘田一博会長からの緊急挨拶(7月28日)

積極的な参加登録をお願いします!

日本機能水学会の皆様

2022年9月20日から横浜で開催される第10回国際レジオネラ学会の登録が開始になりました。

Registration: The 10th International Conference on Legionella (umin.jp)

100題を超える一般演題のご登録をいただき、ハイブリッド形式(オンサイト+オンライン)での開催を予定しております。感染状況にもよりますが、海外からの演者も多数ご参加いただけるものと楽しみにしております。

レジオネラ症に限らず、広く感染症の疫学・診断・治療・予防に興味を持たれている皆様のご参加をお待ちしています。

どうぞ宜しくお願いいたします。

第10回国際レジオネラ学会 会長 舘田一博(東邦大学)

シンポジウム

Legionella, Biofilm and Functional Water Joint Symposium (9.24日 9:00~12:00)

Chair:

Nobuhiko Nomura (University of Tsukuba, Japan)

Maria Luisa Ricci (Istituto Superiore di Sanità, Italy)

Kunimoto Hotta (Functional Water Foundation)

Speaker:

From Biofilm

Biofilms and membrane vesicles

Nobuhiko Nomura (University of Tsukuba, Japan)

Development of a new optical clearing method to revisit bacterial and fungal biofilms

Shinya Sugimoto (The Jikei University School of Medicine, Japan)

From Legionella

Title: To be determined

Nicholas Ashbolt (Southern Cross University, Australia)

Title: To be determined

Hiroyuki Yamaguchi (Hokkaido University, Japan)

From The Japanese Society for Functional Water

Electrolytically-generated Hypochlorous Acid Water:

Advances in Scientific Basis and Application of Anti-microbial and Anti-viral Activities

Kunimoto Hotta (Functional Water Foundation)

Suppression of Biofilm on Residential Equipments with Water Supply by

Tap Water Derived Electrolyzed Functional Water

Ayumu Umemoto (TOTO Ltd.)

<日本機能水学会第20回学術大会>

大会テーマ：『機能水の滴り、大海へ』

大会長：岩澤篤郎先生(東京医療保健大学教授)

会期：令和4年(2022年)10月1~2日(土~日)

会場：日本薬学会長井記念ホール(東京澁谷)

事前登録：2022年9月9日迄、<http://www.fwf.or.jp/gakujutu.html>より

更新情報は、機能水学会HP <http://www.fwf.or.jp/gakkai.html> をご覧ください。

1995年1月、「アクア酸化水の使用手引」の刊行に当って、アクア酸化水研究会会長の岡田淳先生(当時関東通信病院)が、「水の滴りは微なりといえども、漸く大器に満つ」と冒頭に記しています。20回を記念する大会の大会長として、「機能水の滴り、大海へ」をテーマにした理由もここにあります。

20回の記念大会を会員の皆様と盛大にお祝いしたかったのですが、コロナ禍がまだ収まりません。昨年と同様に10月1日2日澁谷にある長井記念館で現地とオンラインによるハイブリット開催を予定しています。

機能水は、電解水・次亜塩素酸水だけではありません。アルカリイオン水やオゾン水についても積極的に本学会で議論してきました。さらにその他の処理を施した機能水についても今後積極的に議論していく必要を感じています。これら機能水が幅広い分野に波及すべく、プログラム委員長の菊地憲次先生を中心とした委員会において討議し、意義深い大会にしたいと思っています。多くの会員の皆様のご参加と興味深い演題発表を心よりお待ちしております。

(大会長 岩澤篤郎)



<ATP・迅速検査研究会 第46回定例講演会>

【日程】11月17日(木)13:00~16:45(予定)

【会場】月島社会教育会館(有楽町線・大江戸線「月島」駅)

【形式】リアルとオンラインの併用

【演者】川崎晋 ATP・迅速検査研究会会長

加地祥文先生 日本食品衛生協会常務理事

トリドールホールディングス 食品安全管理部担当

※その他の演者は検討中

【参加費】会員(含機能水財団会員)1,000円、非会員2,000円

【事務局】立石亘 <https://atp-jinsokukensa.com/>



<食品ニューテクノロジー11月例会セミナー>

テーマ：食品製造と空間衛生

期日：2022年11月(日時未定)

講演

①空間衛生をめぐる課題とニューテクノロジー

②空調機内の衛生管理と気流を踏まえた室内の清浄化

③空間クリーン化装置KOACHIによる浮遊菌・カビ対策

(一財)機能水研究振興財団理事長 堀田国元氏

新日本空調(株)技術開発研究所課長 高塚 威氏

興研(株)環境エンジニアリングディビジョンセクションリーダー

前田信哉氏